

広 報

ふじかわ

10月号

昭和62年10月5日発行 No.315

町のメモ

昭和62年10月1日現在

| | |
|-----|----------------------|
| 人口 | 16,948人 |
| 増減 | -5人 |
| 男 | 8,352人 |
| 女 | 8,596人 |
| 世帯数 | 4,420世帯 |
| 面積 | 31.09km ² |

富士川町 総務課 ☎81-1111
〒421-33 富士川町岩淵121



エプロン姿でかも入ります

(一申体育大会)

町のことしの目標「健康な心とからだに住みよい町に」

この高齢化社会をみんなの力で



大正琴クラブの皆さんの練習風景

ボランティア活動を通じて地域と連帯

富士川町老人クラブ連合会では現在、会員が千二百九十人で、地域社会の一員として、家庭や社会の幸せづくりに努力しています。

活動は、まず第一に心や身体健康づくり、健康相談や健康診断を行い、老人体操やゲートボールで体を動かしています。第二に社会参加を主とした活動。蒲

原病院の環境美化に努めたり、各単位クラブで毎月、地区に即した奉仕活動を行って行っています。また地域の行事には積極的に参加し、世代を超えて交流します。他にレクリエーション活動では、趣味・娯楽・演芸などみんなで楽しく過ごしています。

趣味を楽しむ

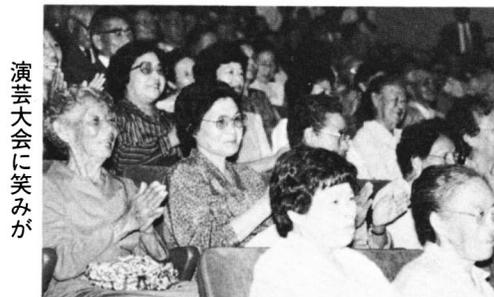
まきの木大学には、十一のクラブがあり、中央公民館を利用して活動しています。クラブには、ハイキング・放談・生き花・フラワーデザイン・盆栽・舞踊・短歌・民謡・詩吟・書道・大正琴があり、講師の先生を中心に学習したことを、家庭での自由な時間に行い、自分の趣味や生きがいにしていく人も多くいます。それに、友達も多くでき、明るく、楽しみながら活動しています。

知識や技能を社会に生かす

人材センター「シルバー富士川」は、今年の四月に発足して以来、順調に実績を上げています。

会員の方は、自分の能力や知識経験を生かし、地域及び町の発展のために、各種の仕事に生甲斐を感じて元気に働いています。

他にも町が催している各種講座・行事などの参加者にもおおいにお年寄りの皆さんが参加しています。これからの人生を楽しく過ごすためにも、自分の「生きがい」を捜してみたいかですか。



演芸大会に笑み

七十歳以上のお年寄りの長寿と健康をお祝いする「第五十六回敬老会」が十八日（金）中央公民館ホールで開かれました。

当日は午前、午後に分かれ、約千四百人のお年寄りを招待し、常葉雅文町長などからお祝いのご挨拶や敬老金、記念品などが贈られたのに続き、来賓祝辞や花束贈呈が行なわれました。

その後、浪曲や漫才などの演芸大会に入り、会場は、お年寄りの元気な笑顔でいっぱいでした。

第五十六回敬老会が盛大に

◎九十歳以上の高齢者

(敬称略)

九月十五日現在

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---|
| 小林 100 | 小川 98 | 清兼次郎 98 | 小林 98 | 田村 97 | 斎藤 97 | 望月 95 | 天野 94 | 角替 92 | 小永井 92 | 森山 92 | 加藤 92 | 佐野 92 | 常葉 91 | 花田 91 | 池谷 91 | 芦川 91 | 望月 91 | 佐野 91 | 榎本 90 | 齊藤 90 | 堀沢 90 | 久保 90 | 吉田 90 | 望月 90 | 佐野 90 | 錦織 90 | |
| 山 | 坂 | 町 | 山 | 町 | 町 | 町 | 町 | 島 | 坂 | 川 | 池 | 小 | か | 上 | 上 | 上 | 上 | 上 | 上 | 上 | 下 | 下 | 下 | 下 | 下 | 下 | 下 |
| 新 | 新 | 新 | 新 | 新 | 新 | 新 | 新 | 新 | 新 | 新 | 新 | 新 | 新 | 新 | 新 | 新 | 新 | 新 | 新 | 新 | 新 | 新 | 新 | 新 | 新 | 新 | |
| 本 | 本 | 本 | 本 | 本 | 本 | 本 | 本 | 本 | 本 | 本 | 本 | 本 | 本 | 本 | 本 | 本 | 本 | 本 | 本 | 本 | 本 | 本 | 本 | 本 | 本 | 本 | |
| 通 | 通 | 通 | 通 | 通 | 通 | 通 | 通 | 通 | 通 | 通 | 通 | 通 | 通 | 通 | 通 | 通 | 通 | 通 | 通 | 通 | 通 | 通 | 通 | 通 | 通 | 通 | |
| 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | |
| 町 | 町 | 町 | 町 | 町 | 町 | 町 | 町 | 町 | 町 | 町 | 町 | 町 | 町 | 町 | 町 | 町 | 町 | 町 | 町 | 町 | 町 | 町 | 町 | 町 | 町 | 町 | |

特集

高齢化社会と生きがいを考える

今、富士川町は、九人に一人が六十五歳以上のお年寄りですが、これから高齢化が益々進む中で、趣味を楽しんだり、これまでの経験や能力を社会に活用したり、ボランティア活動を通して、地域との連帯を深めたり、色々な充実した人生の過ごし方があると思います。

そこで今月号では、年齢階級別人口の推移をお知らせしますが、この機会に、これからの高齢化社会をどのように生きるか、みなさんといっしょに考えてみたいと思います。



趣味を生かしたサークル活動 (まきの木大学 フラワーデザイン)

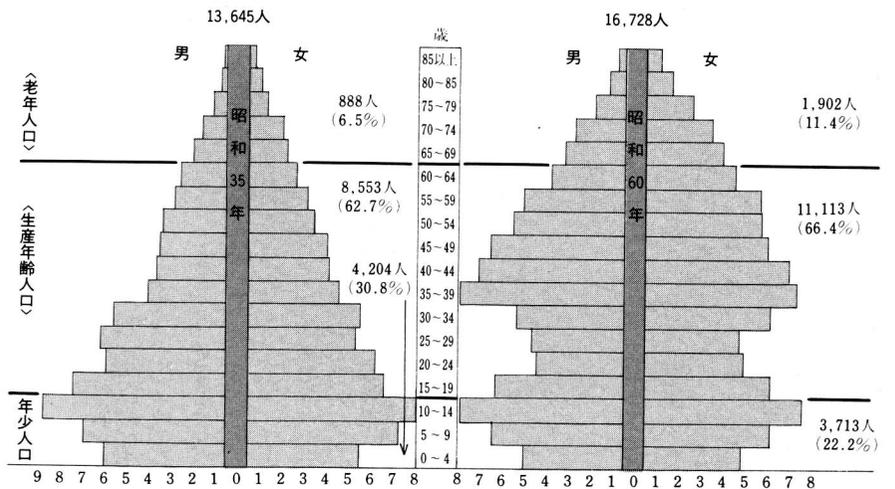
急激に進む 高齢化社会

日本人の平均寿命が年々延びていますが、いったいどれだけ延びているかといえますと、昭和三十年ころには男性六十歳、女性七十歳だったのが、現在は男性七十五歳、女性八十一歳となり、三十年ほどの間で約十歳も延びています。ですから、お年寄りの生活もずいぶん変わってきました。

皆さんもご存知のように、各区のゲートボール場では、晴れた日ともなると、必ずといっていいほどお年寄りの皆さんがゲートボールを楽しんでいます。また、まきの木大学では大勢の人達が各クラブに分かれ、趣味を生かした自主活動を行っています。

右下の図は、富士川町の人口を五歳ごとに区切って、男女別に表わした昭和三十五年と六十年の年齢階級別人口です。年少

年齢階級別人口構成



資料：国勢調査

(百人)

人口(十五歳未満)が三十・八代の人達でしょう。この世代の若から二十二・二割と減少し、老年人口(六十五歳以上)は、二倍に増加していることがわかります。

現在、高齢者と呼ばれる人達を支えているのは、四十〜五十

まちの広場

全国大会女子一〇〇メートルで 多芸庸子さん(二小)四位入賞



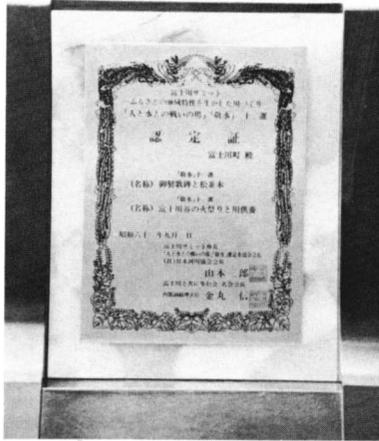
自分の夢に向かって
練習する多芸さん

八月二十九日(土)国立競技場のタイムが一番よく13秒30で行われた第三回全国少年少女リレー大会で、県代表として百メートルに出場した富士川第二小学校六年の多芸庸子さんは、決勝でみごと四位入賞しました。多芸さんは、予選、準決勝、決勝と三回走り、記録は予選

のタイムが一番よく13秒30。「国立競技場は広くて、びっくり。決勝の時は慣れて緊張しなかった」と感想を述べ、「これから百メートルの競技を続け、一生懸命練習し、立派な選手になって、もう一度、国立競技場で走ってみたい」と抱負を語りました。

『歌碑公園』『川供養』が「敬水」十一選に

第二回富士川懇談会(富日、甲府市内のホテルで開土川サミット)が、九月三



「敬水」の認定書

この富士川サミットでは、「敬水」と「人と水との戦いの場」に、富士川水系の治水箇所、公園行事など約二百五十の候補の中から、選定委員がそれぞれ十一選ずつ、計二十二選を選定しました。この「敬水」十一選の中に富士川堤の松並木から富士川を配して望む富士山の景観と御製歌碑、古来からの水信仰を象徴する「川カンジエー」、「投松明」などの川供養が選ばれ、認定証が授与されました。

常葉町長が高齢者宅訪問

九月九日・十日の両日、米寿(八十八歳)を迎えられる人(十六人)と町最高齢者の小林たまさんをはじめ、九十歳以上の高齢者(二十八人)のお宅を、常葉雅文町長が訪問し、お祝いの言葉や記念品を送りました。なお町では、九十五歳を迎えた望月春吉さん(上町)の家族に「長寿者介護慰労金条例」により慰労金三十万円を贈りました。



みなさん、いつまでもお元気

野田合板(株)富士川事業所が 県心身障害者 雇用促進協会長表彰

九月の障害者雇用促進月間にちなみ、県障害者雇用促進大会(県・公共職業安定所・県心身障害者雇用促進協議会主催)が九月十七日、県総合福祉会館で開かれました。この席上で、野田合板(株)富士川事業所が障害者雇用優良事業所として、県心身障害者雇用促進協会長表彰を受賞しました。

さわやかな秋風の中、それぞれの運動会に歓声

六日(日)の北松野保育園を皮切りに、十三日(日)に松千代保育園、十九日(土)に第一・第二中学校、二十日(日)に岩淵保育園、二十三日(水)が第二小学校、二十七日(日)に第一小学校、第二幼稚園と天候にも恵まれ、運動会が続きました。

保育園や幼稚園では、子どもたちが全力で競技に挑戦したり、親もいっしょに競技に参加し、学校では日頃の成果を発揮し、きびきびした動作で応援合戦や競技に、なごやかな歓声があがっていました。十月十日(土)には、第一幼稚園、さくら台幼稚園が予定されています。



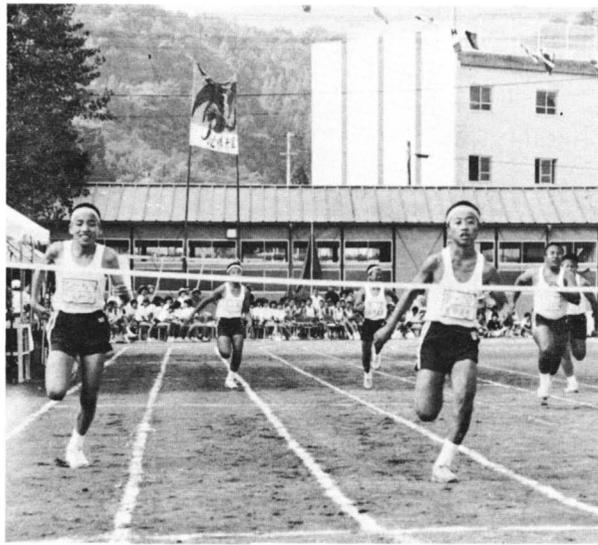
大事なお荷物、落とさないで

第二小学校が県交通安全対策協議会長表彰

九月十八日(金)、沼津市民文化センターで行われた交通安全県民大会の席上で、同校が交通安全優良団体として、県交通安全対策協議会長表彰を受けました。これは、無事故記録と地域ぐるみで交通安全に努めていることが認められたもので、運動会の閉会式に、安全協会の望月初男分会長から安全委員の塩川幹人君に渡されました。



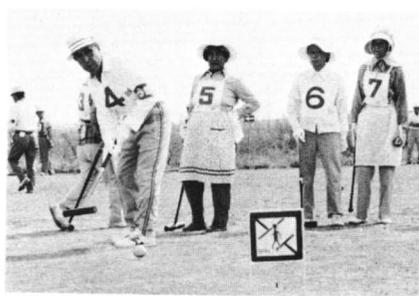
これからも交通安全に努めます



150 m走のゴール前の緊迫した瞬間

交通安全祈り、ゲートボール大会

第十回富士川町ゲートボール大会が、「交通安全ゲートボール大会」と称して、九月二十四日(木)、秋晴れの河川敷ゲートボール場で行われました。秋の交通安全運動中なので、各ゲートに道路標識をつけ、開会式で蒲原署交通課長から標識についての説明を受け、ゲームを楽しむと同時に、交通安全について再確認しました。



交通標識に向かって、ゲーム開始

この五チームは、十月の郡大会に出場します。

- 優勝 新町本町 二位 八幡町 三位 小山 四位 川坂・堺町 五位 相生町

河川愛護作文で優秀賞

河川愛護月間(七月一日〜三十一日)の一環として、建設省甲府工事事務所では、富士川流域の小中学生を対象に、身近な生活環境である河川について「富士川を愛する作文」を募集しました。この結果、第二小学校六年塩川幹人君、第一中学校一年若月恭君、町田尚紀君の三人が優秀賞に選ばれました。また、河川愛護団体表彰では、坂下老人クラブと第一中学校が地域河川敷の清掃活動で表彰を受けました。

行政相談週間

10月11日～17日

この週間は、総務庁の行政相談制度について、広く皆さんの理解と認識を深め、その利用を促進し、この制度の一層の発展と行政の民主的な運営を図るため、十月十一日から十七日まで実施されます。

出てはいかがでしょうか。行政相談員は法律に基づき、総務庁長官から委嘱された民間の有識者です。全国の市町村には必ず一人はおり、役所や公園などが行っている仕事に対する苦情や要望・意見を住民から受け、問題解決の促進を図る町民と行政のパイプ役です。

みなさんの身近な相談員

ご存じですか 行政相談委員

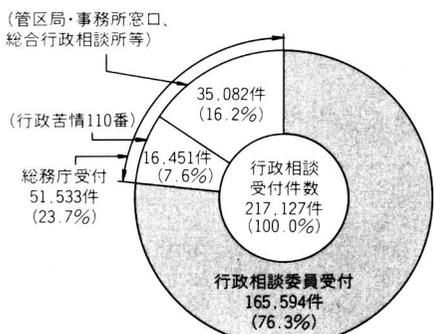
富士川町では、旭町の斉藤静晴氏(六十三)が行政相談員として、月一回、福祉センターで開設する総合相談の一環として、苦情・要望・問い合わせなどを受けて、その解決や実現を図っています。



毎日の暮らしの中で、道路や河川の整備、環境整備、消費者保護など役所や公園などの仕事に苦情や要望・意見がありませんか。「苦情はあるが、直接役所に行ってもいいにくい」「どこへ申し出たらいいのかわからない」という方は、行政相談員に申し

相談は無料で、匿名でも受け付けています。相談方法は、口頭、電話、手紙のいずれかでもかまいません。行政相談員はみなさんの相談役です。お気軽にご相談ください。

行政相談窓口別受付件数



資料 総務庁

歳時記

新米

十月は実りの秋——待望の新米シーズン到来といいたいところですが、実はもうとくに新米が食卓にのぼっていることをご存じですか。



以前は十月半ばあたりが本格的な稲刈りの時期でした。ところが、最近は収穫が早くなり、千葉県、宮崎県あたりでは八月二十日ごろから始まり、九月に入ると各地で刈り入れは本番となりま

す。これは、稲の開花期が九月の台風シーズンにあたらないうように栽培の時期を早めたためです。それと、兼業農家が多くなり、本来六月ごろ行われていた田植えを、休日の多い四月から五月にかけてのゴールデン・ウィークにやっ

てしまう農家が増えたためではないかともいわれています。ところで、新米という新入りの人をさげすむような言葉として使われますが、古米や古古米よりおいしい新米なのに、なぜそのような使われ方をするのでしょうか。これはどうやら、新前がなまっ

秋の交通安全運動

九月二十九日から始まる

九月二十一日(月)から十日間、秋の交通安全運動が実施されました。

- ◎歩行者及び自転車利用者の交通事故防止
- ◎二輪者を中心とした無謀運転の追放

◎飲酒、暴走運転の追放
の重点目標を掲げ、初日には富士川駅前、北松野交差点において、交通安全協会、婦人会等の皆さんのご協力により、交通安全の呼びかけを行いました。その他、ゲートポール大会で交通安全意識や道路標識の講話を行い、シートベルトの正しい着用指導、夜間駐車違反防止パトロール、歩行者・自転車の通行方法指導等を実施いたしました。

9月の交通事故

| | | | |
|--------|--------|----|---------|
| 人身事故 | 6件(11) | 合計 | 13件(16) |
| 物損事故 | 7件(5) | | |
| 富士川身延線 | 3件(9) | | |
| 国道一号线 | 6件(3) | | |
| 町道 | 4件(3) | | |
| 県道 | 0件(1) | | |
| その他 | 0件(0) | | |

()は昨年



二十六日(土)には、母親クラブのみなさんが手作りの交通安全マスコットを「安全運転に気をつけて」とドライバーに配りました。

みなさんも交通事故に気をつけて、ゆずりあいの気持ちで交通安全に努めましょう。

マドンナ紹介

宇佐美 悦子さん (22才)

(清水町)

清水銀行松野支店勤務



宇佐美さんは高校を卒業すると同時に入社し、松野支店に勤務して二年目を迎えています。「明らかで明るいので窓口には最適。お客さんの対応も上手です」と支店長も大鼓判を押しています。

趣味は、おいしいものを食べることにシヨッピング。横浜の元町まで洋服を買

慢するタイプと活動的な両面を持つていると分析し、理想の男性は容姿よりも、友だちが多く、まじめに仕事をし、自分の意見を変えない人だと言います。

「今年の夏はリッツにグアム島へ行き、スキューバー・ダイビングを楽しみ、本物のピストルを打ってきました。まだ、水着のあとがくつきり残っていて、そのあとを見るたびに、夏の碧い海が蘇って



9月の交通事故

| | | | |
|--------|--------|----|---------|
| 人身事故 | 6件(11) | 合計 | 13件(16) |
| 物損事故 | 7件(5) | | |
| 富士川身延線 | 3件(9) | | |
| 国道一号线 | 6件(3) | | |
| 町道 | 4件(3) | | |
| 県道 | 0件(1) | | |
| その他 | 0件(0) | | |

()は昨年

戸籍の窓

S 62・8・15より9・14届出分

(敬称略)

おめでた

| 区名 | 氏名 | 保護者 | 続柄 |
|------|-------|-----|----|
| 室野 | 宇佐美綾乃 | 完司 | 長女 |
| 相生町 | 清水千裕 | 英樹 | 長女 |
| 上町 | 杉尾沙矢香 | 雄司 | 長女 |
| 四十九町 | 堀澤晋作 | 正洋 | 長男 |

| | | | |
|------|-------|----|----|
| 大業窪 | 渡邊僚志 | 久志 | 二男 |
| 幸町 | 吉川悠太 | 英治 | 長男 |
| 東町二 | 大石卓磨 | 吉任 | 二男 |
| 東町二 | 平井翔 | 茂 | 長男 |
| 南町二 | 佐野秀憲 | 一豊 | 二男 |
| 富士見町 | 木伏理沙子 | 茂行 | 二女 |
| 富士松野 | 高原愛美 | 良貴 | 二女 |
| 大北町 | 塩川千裕 | 和正 | 長女 |

| 区名 | 氏名 | 年齢 |
|-----|-------|----|
| 室野 | 谷津倉政邦 | 三二 |
| 上町 | 大久保せい | 七二 |
| 舟山町 | 花田喜之助 | 九二 |
| 旭町 | 加藤いね | 七四 |
| 川坂 | 若月キシ | 六九 |
| 本通三 | 池上きよ子 | 七四 |
| 幸町 | 岩下てい | 七九 |
| 八幡町 | 稲葉年次 | 七八 |
| 八幡町 | 望月毎三郎 | 八一 |
| 清水町 | 久保田だい | 七八 |

かなしみ

球根を植えてみませんか
きれいに咲いている花を眺めることは誰でも楽しいもの。
スイセンを植えてみましょう。
植付けは、九月中下旬から十月中旬。花壇などに植える場合は株間10cmから15cmで、深さは球根の二〜三倍に。肥沃で水はけがよく、冬に日が当り、夏は日陰になる所なら、二・三年植えっぱなしでも、かまいません。元肥に油かすなどの有機質を、植え付け位置から、やや離すように施します。

お母さんの知恵袋

九月詠草(天野寛選)
富士見町 佐野いそ江
秋彼岸盛りと咲きぬ曼珠沙華土よりいでて燃える朱の色
富士市 長橋 安子
越し来たり足掛三年日は経てど夢に出づるは富士川の町
上町 望月 晴子
夜となれば銃持つソ連兵の物盗りに怯える子等と泣く乳児抱けり
四十九町 入月 弘子
八月の日差し遮る杉大樹光堂への坂に根を張る
四十九町 塩川 恒子
雨雲はたちまちにして空覆い歎ときおれば雷鳴近づく
四十九町 辻 すみじ
裏山に汗して草刈り終えし今日秋の味覚を楽しみて居り
宮町 若月ゆき江
松明に火の放たれし甲斐の路炎勢う音ひびかせて
木島 角替千鶴子
作業場にいちじく詰め居れば部屋内を老姑歩む杖の音する
相生町 長谷川ゆり子
豪雨去りて秋風の立つ軒下のにばたん咲けり濃きむらさきに

一里塚



役場に入ってからもう五年過ぎようとしています。

今年、初めて長寿のお年寄のお宅へ訪問させて頂きました。まず驚いた事が、皆さんとてもお元気な事でした。お年寄りと言うと、家にこもりがちなのではないかと思っていたのですが、お会いした方々皆さん何かしら身体を動かしている方が多いのです。そして、家族のために何かをしたという気持ちを持っていらっしゃるのがよく分かりました。ただ一日だけの事でしたが、

普段の自分の行動・考え方を思いかえしてみ、あまりにも受け身の自分がとても無意味な物に思えてなりませんでした。その日訪ねたお年寄りの方々と比べれば私はまだ四分の一を過ぎた程度しか生活しています。考えてみれば、無我夢中のうちに今まで来たような気がします。ただ思い返してみると、人の為に何かをしたという事がないのです。第三者からこうしたらいいんじゃないか! と言われて初めて行動に移すことはありますが、自らの考えでこうすれば自分にとつてもプラスになり他の人にとつても役立つと思われる事をしていないのです。

社会福祉事業寄付金

(敬称略)

| | |
|-------------|-----------------|
| ふれあい広場模擬店 | 七千円 |
| 富士川町婦人会他一件 | S 62・8・26より9・21 |
| 稲葉百合江 (八幡町) | 五万円 |
| 善意銀行へ寄託 | S 61・8・21より9・10 |
| 畑中信之 (長泉町) | 八千円 |



植え込み間隔は極小球で、球間8cm、中球12cm、大球14cmまで。深さは球根の頂上より10cm。重い土の場合は、8cm位。肥料は油かすや骨粉を混ぜ、施します。植えた後の管理も忘れずに。(園芸百科事典より)

婦人会 (佐野)